

第27回 ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会

7月16日(土)~18日(月) 岩手県北上市 北上総合体育館小アリーナ

ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会が岩手県北上市で開催された。170名(男子119名・女子51名)参加。19名45個の日本新記録が樹立された。

最優秀選手(ベストリフター)74kg級M1小泉安弘選手(千葉県CLUBポイズン)、スクワット215kg、ベンチプレス150kg、デッドリフト265kg、トータル日本新記録630kgで優勝。1942年生まれ2人のM5の活躍が素晴らしかった。66kg級高橋忠廣選手(宮城県仙台市体育館パワーリフティングクラブ)、スクワット135kg、ベンチプレス90kg、デッドリフト175kg、トータル400kg、すべて日本新記録で優勝。59kg級小林芳雄選手(埼玉県THE CHAMPIONS)は、ベンチプレス85kg、日本新記録で優勝した。

女子では、69kg級M4林久子選手(兵庫県雷神ファクトリー)スクワット140kgとトータル355kgは、M1からM4まですべての日本新記録、恐るべしM4の一人。47kg級M2藤原久美子選手は、43.75kgの体重でありながら、スクワット106kg、デッドリフト140kg日本新記録で優勝。52kg級M1齊藤恵選手デッドリフト158kgは、一般の新記録も更新となった。47kg級M3石澤静江選手、スクワット87.5kg、ベンチプレス60.5kg、トータル260.5kgは、M3日本新記録。

この他にもたくさんの日本新記録が樹立された。マスターズの選手は、ますます元気で、マスターズに見えない若さ溢れる試技と「礼に始まり礼に終わる。」落ち着いた大会にしてくれた。そして、久しぶりに会えたなつかしさに花が咲いた素晴らしい大会となった。

3日間にわたり、岩手県協会を中心に東北ブロックの皆さん、真面目であたたかな大会運営をして頂いたことに感謝。役員、審判、補助員の皆さん長時間本当にお疲れ様でした。

